

令和元年度男女共同参画に関する県民意識調査項目一覧(素案)

(※太字の設定は新規・前回からの変更等)		新規の有無 (前回調査と比較し、新規=○ 関連設問・選択肢変更等=△ 前回調査どおり=ー)	比較対象	備考
第1章 男女共同参画に関する意識				
問1	①さまざまな場における男女の地位の平等感	-	H21、26県調査 内閣府世論調査	経年変化の把握
問2	②「男は仕事、女は家庭」という考え方について	-	H21、26県調査 県民アンケート	経年変化の把握
問3	③性別にかかわらず機会確保	-	H26県調査	第4次計画基本目標の達成度合いを測る指標
問4	④男女共同参画について学んだ経験	○	-	男女共同参画の知識や意識の浸透度合いを把握する基礎資料
問5	⑤男女共同参画について学んだことに関する考え方	○	-	男女共同参画の知識や意識の浸透度合いを把握する基礎資料
第2章 家庭・地域生活に関する意識と実態				
問6	①仕事と家庭・地域生活の両立(理想と現実)	-	H21、H26県調査 内閣府世論調査	経年変化の把握
問7	②男性が家庭・地域活動への参加するために必要なこと	△	H26県調査 内閣府世論調査	男性の参画推進に活用 内閣府世論調査を参考とするが、選択肢を見直し
第3章 女性の職業や社会参画に関する意識と実態				
問8	①女性が職業をもつことについて	-	H21、H26県調査 内閣府世論調査	経年変化の把握
問9	②女性地位向上に対する考え方	-	H21、H26県調査	経年変化の把握
問10	③政策の企画・方針決定の場に女性の参画が少ない理由	-	H21、H26県調査	経年変化の把握
問11	④女性の社会参画を進めるための行政の取組	○	-	女性活躍推進法施行に伴う施策に活用
問12	⑤女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことに関する意識	○	-	女性活躍推進法施行に伴う施策に活用
第4章 配偶者等からの暴力について				
問13	①DVの認知状況	△	内閣府「男女間における暴力に関する調査」	「用語の認知度」から「暴力行為の認知度」へ設問変更
問14	②DVに関する相談機関の認知状況	-	H21、H26県調査 内閣府「男女間における暴力に関する調査」	経年変化の把握
問15	③DVの被害経験	△	H21、H26県調査 内閣府「男女間における暴力に関する調査」	経年変化の把握 内閣府「男女間における暴力に関する調査」を参考とし設問一部追記(経済的圧迫)
問16	④DV被害者の相談状況	-	H21、H26県調査 内閣府「男女間における暴力に関する調査」	経年変化の把握
問17	⑤交際相手からの暴力について	○	内閣府「男女間における暴力に関する調査」	中学校からの未然防止教育に活用
第5章 男女共同参画の推進について				
問18	①男女共同参画に関する用語の周知度	△	H21、H26県調査 内閣府世論調査	選択肢「女性活躍推進法」、「候補者男女均等法」、「LGBT」、「マタニティ・ハラスメント等」、「デートDV」を追加
問19	②県が男女共同参画社会形成のために力を入れるべき施策	-	H21、H26県調査	施策の重点化に活用

その他				
問20	①熊本地震を踏まえた災害時の取り組み(課題)	○	-	県民が必要とする施策の把握
問21	②熊本地震を踏まえた災害時の取り組み(今後の施策)	○	-	県民が必要とする施策の把握
問22	③男女共同参画についての意見、感想	-	-	

設問数	22	新規=7 選択肢等変更=4 前回どおり=11
-----	----	------------------------------